

2021 年度第 9 回理事会 議事録 2022.2.17

日時：2022 年 2 月 17 日（木）19：00～21：20

場所：オンライン開催のため各自自宅・職場

出席理事：神保武則(会長)、田中ゆかり(副会長)、金山桂(副会長)、吉本雅一(事務局長)、玖島弘規、佐々木秀一、佐藤隼、遠藤陵晃、野本義則、神田崇央、佐藤範明、木村修介、望月強併、澤口勇、西川航平、大郷和成(16 名)

欠席理事：奥原孝幸、戸塚香代子（2 名）

出席監事：錠内広之、野々垣睦美(2 名)

その他出席：池田公平(選挙管理委員会 委員長)

I. 会長より挨拶

本日より私が理事会の司会を務めます。進行に関しては事務局長と協力しながら行いますのでよろしくお願いします。本日も選挙管理規程をはじめ重要な議事運営が多数あります。社員総会の期日も念頭に置きながら意思決定をしていきたいと思っておりますのでみなさんの協力をお願いします。組織改編についても提案します。

II. 報告事項について(トピックス・各部署・理事)

【トピックス】

1. 代議員選挙 推薦候補者数の報告

(1)推薦候補期間：2022 年 1 月 6 日（水）～1 月 26 日（水）消印有効

(2)開票：2022 年 1 月 28 日（金）19:00～事務局にて実施

(3)推薦候補者数：A ブロック：4 名 B ブロック：1 名

(4)立候補者と推薦候補者合計

A ブロック：29 名（定数 46 名）、B ブロック：14 名（定数 31 名）

立候補者および推薦候補者の一覧は別紙参照

2. 代議員選挙 推薦候補募集期間の延長

(1)募集期間：2022 年 2 月 1 日（火）～3 月末まで

(2)方法：県士会ホームページから書式をダウンロードし必要事項を記載の上事務局に郵送

(1)開票：届出の状況について事務局と連絡を取り合いながら一定数集まった時点で開票を行う

3. 今後の課題

(1)代議員の立候補者および推薦候補者の募集方法について

現在ウェブサイトでの周知が中心となっているが、ニュースとは別に紙面を発送する方法も検討する。

4. その他

代議員の推薦候補募集の締め切りが 3 月末日となるため、部員等をはじめ県士会活動に協力をしていただける周囲の会員に広く呼び掛けて推薦をすすめていく。

【各部署】

1. 事務局

(1)第 9 回社員総会議案書について

第 9 回社員総会の手続きを円滑に進めるため、議案書の各部署記載事項について 3 月 17 日を第一締め切りとして全部署提出を依頼する。年度末に終了する事業報告については終了次第加筆し完成とする。

2. 財務部

(1) 期末監査書類提出について

社員総会の手続きを円滑に行うため 3 月 11 日より各部署期末監査書類と 3 月会計ファイル送付の順次受付を開始する。今年度の事業が終了した部署については年度末の振り返り会議など早めに実施できる部署は協力をお願いしたい。

(2) 各部署予算内訳について

全ての部署で確認した。来年度の予算金については社員総会で承認され次第事務局より各口座へ送金する。

3. 学術部

(1) 学術誌編集班

J-stage の審査は承認された。オンライン査読システムは 4 月 1 日の本運用に向けて試験運用中。紙媒体での学術誌刊行は行わない。

4. 広報部

(1) 県士会についての広報

野本理事所属の東京医療学院より依頼あり。所在地は東京ではあるが神奈川県に就職希望の学生が複数いるため県士会の広報について依頼あり。

→全役員より異論なし。神保会長より東京都士会会長と事務局長へその旨お伝えしたうえで事業を実施する。

(2) 13 歳のハローワーク 横浜高校 2 年生との ONLINE 交流について

当会に依頼あり出席する予定。詳細は下記。

日時：2022 年 3 月 16 日（水） 8 時 55 分～14 時 20 分

（8:55～10:45／11:55～12:45 & 13:30～14:20）

会場：ONLINE 交流（Teams 利用予定）

対象：高校 2 年生（920 名／27 クラス）、高校 1 年生（650 名／21 クラス）

主催：JTB

(3) 相模原さくらまつりについて

開催中止の連絡があり活動中止

5. 福利部

(1) 写真コンクールについて

公益財団法人アイネット地域振興財団の事業助成金について申請した。6 月に審査結果が出る予定。

(2) 新入会員へ向けた広報

第 5 回神奈川県臨床作業療法大会について新入会員へ広報する予定。

6. 制度対策部

(1) OT 協会主催運転と作業療法委員会士会協力者会議 報告

ア) 委員会より今回の実態調査アンケート結果の報告

自動車運転支援に関わる OT 数や施設数は増加傾向でありドライブシミュレータを有する病院も増加。

イ) 地域別ブロックでの意見交換会

神奈川としては県士会としての班発足後に現状把握や情報発信を主に行なっている事、市街地に拠点となる病院がそれぞれの取り組みにより点在はしており、教習所や免許センターとのやり取りも独自のものが多くなっている。県士会としては各病院での取り組みは活かしつつ、県警や教習所、医療間での連携を図っていけるよう橋渡しを図っていきたいことを報告。

ウ) ブロック意見交換会のまとめ

各都道府県で地域特性や県警、教習所協会の違いにより差が出やすいが、こういった場で先進的な取り組み

をしている場所の情報を得て活かしていく必要がある。

エ)委員会の今後の展開

「地域移動支援」に関しても自県のワーキンググループなどを把握し連携を考えていく事が望ましい。

オ)今後の班活動

今後の展望として説明があった「移動支援」への展開は明確に求められていないが、将来的には自動車運転を諦めた方の移動手段の代替としても移動支援を考えていく必要はあると思われる。神奈川県の実績は免許センターに常勤採用されている作業療法士が2名いることだが、どのような連携を行う必要があるのかを検討。自動車運転以外の移動手段（作業療法士が関わっていくものとして公共交通機関だけでなくコミュニティバス、セニアカーや多輪電動自転車などのパーソナルモビリティ）の導入にも関わっていく可能性がある。

7. 学会評議委員会・第5回神奈川県臨床作業療法大会実行委員会

(1)第18回神奈川県作業療法学会について

後援名義団体へのお礼と報告書作成し当会事務局より送付完了。今回は神保会長から依頼していたため、県士会長名で報告作成。本来は学会長から依頼し報告するためマニュアルとして整備し混乱がないようにする。

(2)第19回神奈川県作業療法学会

2月15日班長会議を実施。3月初めに藤本学会長と実行委員長大郷氏とキックオフミーティングを予定。実行委員長の大郷理事より挨拶あり協力と呼び掛けた。3月理事会では藤本学会長より挨拶をいただく。

(3)第5回神奈川県臨床作業療法大会について(佐藤隼実行委員長より)

『共生社会と作業療法』をテーマとして、圏域レベルの「地域」や在宅生活レベルの「地域」に焦点を当て、地域包括ケアシステムにおける作業療法士の参加の仕方や身障・精神領域に共通する『認知症』について取り上げ、各領域・ステージにおける作業療法士の関わり方について学ぶ企画を進めていく。開催時期は2022年12月とし、ハイブリッド開催を想定して100名規模の会場手配を進めていく。プログラムの詳細については4月に公表を予定する。

8. 生活行為向上マネジメント委員会

(1)第2回MTDLP全国推進会議報告

今後実施される指導者の登録・管理についての説明があった。

ア)学術部でのMTDLP事例合格と同時に、MTDLP室が名簿を作成する（指導者登録）。

イ)ただし、指導者から上記活動について辞退の意向が示された場合は、名簿から削除する。

ウ)MTDLP室は年1回指導者登録の継続の可否を確認し名簿を管理する。再登録は可能である。

エ)MTDLP室は都道府県別の名簿を作成し、該当都道府県士会に提供し都道府県士会が実施する。

MTDLPの推進を支援する。

オ)MTDLP室は指導者の活動状況について把握し、指導者の資質維持・向上について必要な支援を実施。→役割が明確化された。神奈川県では3名を指導者が在籍している。今後登録するかは本人の希望となる。

(2)今後の活動方針と予定

当会では指導者の育成支援を積極的に実施していく。来年度は会員へ向けてアンケート調査を行う予定。

9. 認知症対策委員会

(1)士会における認知症への取り組みを推進する担当者同士の情報交換会 報告

ア)政府の認知症対策について

厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課認知症総合戦略企画官菱谷文彦氏より、今後の認知症患者の推移、今までの取り組み、『共生と予防』の両輪の必要性、地域づくりなどについて説明。

イ)都道府県士会アンケート結果報告（制度対策部 医療保険対策委員会 認知症班）

各都道府県士会の認知症関連の取り組み調査の集計について報告

各都道府県士会では担当部署があり、主に研修会事業を中心に活動している。認知症カフェやフォーラム、世界アルツハイマーデーなどの企画への協力もあった。

ウ)認知症疾患医療センター調査報告（制度対策部 医療保険対策委員会 認知症班）

認知症疾患医療センター併設医療機関における作業療法実態の調査施工

エ)調査協力依頼

認知症初期段階における『大切にしている作業の継続』に関する縦断調査

オ)士会の取り組み報告（愛知県士会）

愛知県士会にて、認知症疾患医療センター併設医療機関等における県士会委員の関与の内容等の実態把握から県士会員に対する県士会の支援内容の検討。協会の実態調査の結果を踏まえ「診断後支援機能の強化」の現状を把握し後方支援の内容の検討。

カ)意見交換

参加：栃木県士会、群馬県士会、埼玉県士会、千葉県士会、新潟県士会、富山県士会、神奈川県士会

栃木県士会：認知症アップデート研修の継続。研修会で講師として家族の会の方を招いて交流

千葉県士会：認知症専門研修にてオレンジカフェの立ち上げ、公開講座実施。アップデート研修は基礎コース、応用コースで実施。若年性認知症当事者の方や多職種からの講演あり。

埼玉県士会：他県士会とコラボで研修会を行っている。情報交換や相互研修の参加等も検討。

新潟県士会：オレンジカフェの立ち上げを3か所行い運営継続中。家族会とスポーツ大会や若年のつどい等で連携。初期集中支援チームには研修を行っていたが状況の把握は出来ていない。

<理事会より>

当会として認知症支援に関わる会員がオンラインで集まり交流できることからでも情報交換や今後の活動に活かせるのではないかと意見提案があった。

10. 公益法人化対策委員会

(1)「当会における公益事業の指針」作りの一環として行われる「公益目的事業プレ開催」について

開催に向けて準備中。現在参加申し込み者は20名。多職種から申し込みがあり。会員等へ公式LINEアカウントにて広報済み。参加者にはアンケートを実施し今後の当会の公益事業について参考にしていく予定。後援名義は2月17日現在、4団体（じんかれん／浜家連／神奈川県精神保健福祉士協会／神奈川県精神科病院協会）より受託。

11. エリア化推進委員会

(1) 代議員との話し合いの場について

開催日程が決定。3月27日(日)10:00～11:30 オンラインにて実施。積極的に参加をお願いしたい。

【理事】

1. 金山理事

(1)選挙ワーキンググループについて

マニュアル作成を最終目標として来年度も活動を継続する。

(2)研修会ワーキンググループについて

マニュアル作成を最終目標として今年度で活動を終了する予定。現在研修会マニュアルの最終版を確認中。

2. 田中理事

40周年記念事業プロジェクト進捗状況について

(1)4月号広報巻頭言 40周年記念企画事業(各部署40周年と冠した活動)を紹介予定

(2)記念誌編集担当 奥原理事にて担当 記念誌の内容について検討していく

(3)ロゴマーク募集 1件応募あり 引き続き締め切りの4月1日まで継続して募集中

3. 佐々木理事

(1)Peatix の使用方法について

研修会のお知らせ、申し込み、運用、便利機能などデモンストレーションを用いて説明。操作方法についてはマニュアルとして整理して配布。研修会ワーキンググループからも報告があり、来年度より研修会申し込み方法は全て Peatix へ移行する。

<質疑応答>

ア)現在使用しているアカウントとパスワード・本運用について

学術部として使用しているので今後はアカウントとパスワード、使用できる範囲を検討し本運用とする。

イ)会員確認について

会員非会員等は区分別の申し込みとしているため事務局での再確認手続きはしない。

4. 遠藤理事

(1)県主催令和3年度市町村介護予防事業担当職員等研修会について

1月21日に開催し木村理事と遠藤理事が出席。介護と保健事業の一体的実施における通いの場への伴走支援事業や今年度の県から地域支援事業の説明や報告。研修会の中で当会の地域リハ人材育成研修会の説明や広報を行った。

(2) 令和3年度介護予防活動普及展開事業に係るアドバイザー等連絡会について

2月2日に開催し遠藤理事が出席。今年度の県高齢福祉課の事業について振り返り、意見などを求められた。また今後専門職団体窓口一覧の変更を行っていくので、地域ワーキンググループで検討した担当窓口(県全域に関して遠藤理事を窓口とし、横浜市は西川理事、川崎市は望月理事、相模原市は佐藤隼理事、県内市町村は遠藤理事)に変更をして提出する予定。

5. 澤口理事

会員増ワーキンググループより

(1) 研修会等で知り得た個人情報の使用目的の説明と利用に関して

非会員の方が数名研修会に参加して下さるがこの方々に入会を呼びかけたいが会員でないので当会の会則において研修会申し込み時に得た個人情報をういて入会勧誘を行うことができない。日本作業療法士協会への照会では目的外使用は個人情報の保護に抵触する恐れがあると。そこで県士会では研修会で知り得た個人情報を入会勧誘や研修会情報の送付などに利用することを、研修会申し込み事項に加え、了承したうえで研修会に申し込んでもらうことで、情報を有効活用することを報告提案したい。

→当会の個人情報取扱業務概要説明書に『非会員』についての要項を追加すれば対応可能と考える。また研修会マニュアルについても文言の整理が必要なため、理事会で検討し来年度個人情報を有効活用できるよう整備する。

6. 神保会長

(1)神奈川県作業療法士会 組織構成の見直しについて

組織改編案について資料を提示し説明。以下の点を主な事項として改編を提案し理事会の意見を募った。

◆日本作業療法士協会との足並みを揃える組織構成へ2023年度に向け改編を検討する。「士会員＝協会員」「会員情報共有」に対応できる体制を意識し協会と共通（共有）する部門や役割を念頭に置く。

◆県士会が現在取り組んでいるワーキンググループや特設委員会を2021年度で整理する。
(ワーキンググループからの問いを集約し課題整理は2021年度で結果を報告して頂く)

◆学術部：従来の学術推進に加え、協会に倣い学会評議員会を含める。

- ◆教育部：協会との連携のもと、生涯教育制度関連およびMTDLPの啓発も担う。
- ◆災害対策：協会組織に倣い、県内の地域社会振興部に配置転換する。
- ◆地域リハビリテーション部と地域包括ケアシステム推進委員会：協会組織に倣い地域社会振興部に包括する。
- ◆ウェブサイト管理委員会と広報部：広報推進部として会員や県民に対する広報戦略を推進する部として包括。
- ◆データ分析戦略対策部：士会員の情報集約システムの構築、および会員増加率向上の戦略部門とし新設する。
協会会員システム等にも対応する。
- ◆認知症対策委員会：神奈川県内の高齢化率を鑑み作業療法の啓発を引き続き担う特設委員会とする。
- ◆エリア化推進委員会：県内にいる作業療法士ネットワークを構築する役割として引き続き特設委員会とする。
また県士会運用体制を検討する等の役割を担う。
- ◆総務部：公益化、規約、倫理、選挙管理、会員に対する福利関係に対応する。協会の名称に準ずる。
- ◆業務が多岐に渡ることが予測される部門には、部長と副部長を置き連携を図る。

<意見交換>

ア)会員への丁寧な説明を行う過程が重要と考える。早急に進めて日本作業療法士協会の改編に合わせず2022年度も引き続き検討していく必要があると考える。

→今回の提案を組織改編のきっかけとしてとらえてほしい。引き続き丁寧に検討議論していく。

イ)規約等の改定する必要があると考える。その点を考慮すると2022年度内に検討し2023年度の社員総会で審議承認を得ることが最短と考えられる。ただしこれはあくまでも最短であると考え理事会で丁寧な検討を積み重ねていく必要がある。そう考えると2024年度から開始が妥当ではないか。

ウ)非常に分かりやすい提案であった。前体制でも議論検討してきた課題であるため、スピード感を持って進めていく事が必要だと感じる。会員管理やデジタル化については早急に整備していく必要がある。最短で進めた方が良いと考える。また理事＝部長についても引き続き議論した方が良い。

エ)この提案については会長の意見か

→会長として提案している。

オ)今後の意見交換についてはどのように進めていくのか

→丁寧に議論検討していきたい。意見聴取などの方法については三役会で検討し案内する。

Ⅲ.審議事項について

1. 新入会員の承認について(事務局より)

2022年1月の新規入会会員についての確認→承認

2. 選挙管理規程の新設ならびに代議員選挙規程と役員選挙規程の廃止について(規約委員会より)→承認 第9回社員総会の議案として提出する

Ⅳ.その他 連絡事項等

1. 議事録署名人について

古本事務局長から指名があり決定する。神保会長、錠内監事、金山副会長、神田理事。

2. 第4回47都道府県委員会(オンライン会議)3月12日開催について

神保会長が委員として出席予定。田中、金山副会長がオブザーバーとして出席予定。残り2枠のオブザーバー出席希望者を募集。事務局長より詳細を理事メーリングリストで発信募集をする。

3. 第9回社員総会日程について

2022 年 5 月 22 日開催を調整検討中。決定次第理事メールリングリストにて発信連絡する。

4. 監事より

(1) 錠内監事

助成金、養成校への説明会、査読システムなど様々な課題について検討されています。また組織改編については前体制でも検討されてきた課題であり、スピード感を持って議論決定していくことが肝要と思います。日本作業療法士協会と足並みをそろえていくことは大変適当と思いますが、神奈川県作業療法士会のスケールメリットも考慮して検討してほしいと思います。みなさんの任期も意識して引き続き理事会で鋭意検討を進めてください。

議事録署名人	議長：	神保 武則	印
	理事：	金山 桂	印
	理事：	神田 崇央	印
	監事：	錠内 広之	印

次回理事会日程：2022 年 3 月 17 日(木)19 時より開催予定